東通原子力発電所広報誌

より、そう、ちから。
東北電力

しおさい

太平洋の荒波を背景に舞う老部敬神会の踊り獅子

CONTENTS

●特集記事 シリーズ㉗ ふるさと見聞録:豊栄(とよさかえ)を訪ねて……2
●明日へのかけはし:東通村バレーボールクラブ……4
●クローズアップ こんにちは元気さん:竹林(たけばやし) 七海(なみ)さん……4
●ファイト!わんぱく:東通ミニバスケットボールクラブ……5
●地元の特派員レポート:大槻(おおつき) 碧(あおい)さん／藤田(ふじた) 碩基(ひろき)さん……6

東通村イメージキャラクター
かんだちくん®

vol.29
2023年12月発行

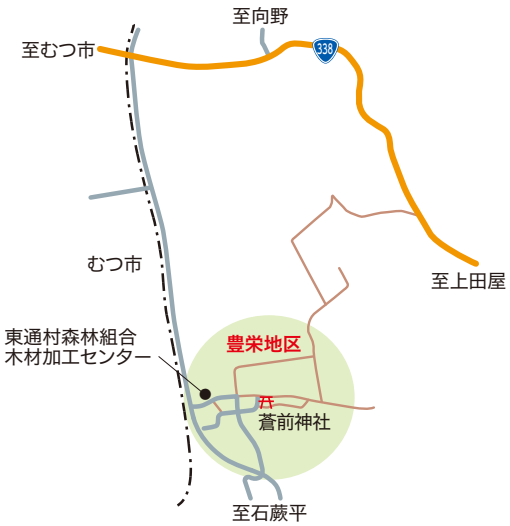
特集記事

東通村29の集落の特徴的風物や人物を探る！

シリーズ㉗ ふるさと見聞録

アットホームな開拓集落

豊栄（とよさかえ）を訪ねて



誰もが住みやすい、とても仲の良い地域

東通村下田屋地区から国道338号をむつ市に向かって500メートル、交差点から南へ約1.5キロメートル進んだ丘陵地にあるのが、豊栄地区。上田屋地区の別家の人たちがこの地へ移住し、酪農と畑作を行ってきた開拓集落です。

当初は上田屋地区寄りに集落がありましたが、水の便が良くなかったことから、昭和20年（1945年）から、当時の営林署から土地を譲り受け、現在の場所に集落を作り始めました。開拓者同士で「豊かに栄える地にしよう」という願いを込めて「豊栄」と名づけたそうです。

入植当時、それぞれの住まいはわずか12坪という小さな開拓小屋で、柾葺（まさぶき）屋根に杉皮を挟めて雨や雪をしのいだそうです。トタン屋根になったのは昭和30年（1955年）頃からで、かつての住まいはそれぞれの家で小屋として現在も使用しています。

田屋小学校石上分校

子どもたちは、昭和38年（1963年）にできた田屋小学校石上分校に通いました。昭和40年（1965年）頃になると、田植えや稲刈り時期には地区の集会所に「農繁期季節保育所」が開設され、保育所の先生を目指す若い人たちが子どもたちを預かっていたそうです。

昭和57年（1982年）には、農道整備事業による石蕨平・豊栄上流線が、平成4年（1992年）には村営水道が整備されました。

かつては酪農が盛んで、乳牛を育て牛乳を農協に出荷していました。また、食肉用の豚も飼育されていたほか、白菜、キャベツ、大根などの畑作も行われていました。

現在、豊栄で暮らしている人たちは入植3代目。酪農を営んでいるのは1軒のみで、多くの人が会社などに勤めています。

地区会の活動は、毎年5月にゴミ拾い、6月と8月の草刈りのほか、神社の祭りも行っています。お正月には神社にお供えを飾ります。40年前までは、お母さんたちによって「東通もちつき踊」が行われていたそうです。

今から60年前までは「ユブシムスコ」という、実の親子関係にない者同士が、親子関係になぞった付き合いをするしきたりがありました。それは、血縁関係が無くても、家族間のつながりを強めるために行われていたとのこと。だからこそ、今でもみんなとても仲が良く、誰もが地区内に住む人たちの顔を知っている、アットホームな地域です。

豊栄地区

地区の中心、馬の神様を祀る「蒼前神社」

豊栄地区の中心に、馬の神様を祀る「蒼前神社」があります。

神社の建物は、むつ市奥内地区の神社から譲り受けたと伝えられています。神殿内部には権現様が祀られ、昔はここで祈祷舞が披露され、お正月には門打ちも行われていました。

現在も、毎年9月13日前後には、宵宮が行われています。

神殿内部

蒼前神社

祀られている権現様

奉納絵馬

奉納額

御神体

豊栄地区 会長　向井（むかい）　正洋（まさひろ）さん（46歳）

豊栄地区は、世帯数8戸、人口23人、みんな仲良く穏やかで、人情味のある人々が暮らす地域です。むつ市に隣接し、下北半島縦貫道路むつ東通インターチェンジが近傍にあり、村外からもアクセスしやすい好立地で、災害も無く、雪が少ないのが特徴。隣同士の家は離れておりとても静かで、住み心地のいい集落です。移住を考えている方はぜひ、お声がけください!

豊栄地区（株）豊栄代表取締役
下川（しもかわ）　将樹（まさき）さん（39歳）

私の生まれは東通村目名地区ですが、母の実家があるこの豊栄地区が大好きで、母の実家を継ぐため13年前に引っ越してきました。建設会社を立ち上げましたが、地区と同じ社名にしました。

ここは豊かな自然に恵まれ、のびのびと暮らすことができ、子育てにも最適です。みんな良い人たちばかりで、とても住みやすいところです。

豊栄地区 農家
中里（なかさと）　一彦（かずひこ）さん（50歳）

みんな仲良く、もめごともない、暮らしやすい地区です。むつ市にも近く、交通の便も素晴らしいです。年2回の草刈りはみんなで力を合わせて頑張っています。春には、わらびやふき、あざみなどの山菜が豊富にとれます。本当にいいところです。

明日へのかけはし

東通村の頑張るグループを紹介

青森県民体育大会で好成績に輝いた［東通村バレーボールクラブ］

東通村バレーボールクラブの皆さん

今年7月、4年ぶりに開催された「第76回市町村対抗青森県民体育大会」において、町村の部・バレーボールで女子優勝、男子準優勝の好成績を収めたのが、東通村バレーボールクラブです。

結成は今から20年以上前。現在は、バレーボールが大好きな20代から40代の20人が、仲良く楽しく爽やかな汗を流しています。毎週水曜日と金曜日、午後7時から9時までの2時間、東通村体育館で練習を行っています。パス、レシーブ、サーブなど、初心者でもできる基礎からゲーム形式まで、にぎやかに練習しています。試合が近くなると、より実践的な練習を中心に行い、試合に備えます。試合では、若きエースアタッカー2人が試合を引っ張り、チームを勝利へと導きます。

クラブの特徴は元気で楽しい掛け声。会長の奥島一典（おくしまかずのり）さんは「バレーボールは、コートに入った6人が力を合わせ、繋ぐ競技です。互いにミスをカバーし合い、1点取った時の喜びを共有できるのが最大の魅力。カバーリングの大切さを体感することで、相手を思いやる気持ちも育まれると思います。目標は男子の優勝。そして、これまで続けてきたクラブを、ずっと残していきたいです」と意欲的に話していました。

また、「ただいまメンバーを大募集しています。和やかな雰囲気で、初心者には丁寧に指導しています。初心者、経験者、男女問わず大歓迎です」と呼びかけられていました。

［問い合わせ先／Instagram］
@higashidoori_vbc

レシーブ練習

スパイク練習

ゲーム形式練習

奥島一典会長

村内で元気に活動する人を紹介!

クローズアップ

こんにちは元気さん

伝統の「東通もちつき踊」に着想を得て村の新しい盆踊り「東通そろたら音頭」を振り付けした

元気さん

竹林（たけばやし）　七海（なみ）さん（28歳）

2023年「東通ドン!とボン盆フェスタ」で発表された「東通そろたら音頭」。振り付けを考案し、村内各地へ指導に出向いている竹林七海さんにお話を伺いました。

昨年、東通村の若手を中心にスタートした「東通ドン!とボン盆フェスタ」。今年は、村の新しい盆踊り「東通そろたら音頭」を発表し大好評でした。「自分が創作した振り付けを、村民の方々が踊ってくれるのは不思議な気分。みんなの楽しそうな笑顔を見てとても嬉しかったです」と話します。

東通村目名地区で生まれ、小学1年生の頃から郷土芸能の「東通もちつき踊」を伝承してきた竹林さん。村の社会福祉協議会に勤務し、ボン盆フェスタの実行委員として「村に伝わる『東通もちつき踊』という大切に受け継がれてきたものに着想を得て、4拍子の曲に合わせ、誰もが覚えやすく親しみやすい振り付けにしました」と明かします。もちつき踊の名手であるお母さんのアドバイスも心強かったそうです。

「かつては各地区に子ども会があって伝統芸能にふれる機会があったけれど、今はありません。だからこそ、東通もちつき踊にこだわりました。でも、もちつき踊の振り付けは各地区で異なるので、完成した時は気に入ってもらえるか不安でした」と打ち明けます。しかし、ボン盆フェスタ当日、お披露目の場であるにもかかわらず、会場のみんなが一斉に踊り始め、大いに盛り上がったそうです。

竹林さんはボン盆フェスタ以降、各地区の秋まつりに向けて振り付け指導に出向いたり、村の保健福祉センターでご年配の方へも指導しているそうで、「東通そろたら音頭」は多くの方に親しまれています。

振り付けはYouTubeにアップされており「今後は、もっともっと村内に広めて、いろんな人に踊ってほしいです」と話していました。

東通そろたら音頭振り付け動画

岩屋地区の方に振り付けを指導する竹林さん

東通ドン!とボン盆フェスタの様子

ファイト!
わんぱく

東通ミニバスケットボールクラブ［東通MBBC］

東通ミニバスケットボールクラブ（東通MBBC）のみなさん

東通小学校の1年生から6年生までのバスケットボールが大好きな子どもたちで結成されている「東通ミニバスケットボールクラブ（通称・東通MBBC）」。同校の体育館には、子どもたちの元気な掛け声が響いています。

結成は2023年4月。これまで行われてきた小学校の部活動が廃止され、スポーツ少年団へと移行。それに伴い、練習日も練習時間も大幅に拡大され、毎週月、火、木、金曜日の午後4時から6時まで2時間、みっちり練習を行なっています。

メンバーは男子20人、女子9人。6年生で男子キャプテンの澤田（さわだ）蓮（れん）君と6年生で女子キャプテンの奥島真央（おくしままお）さんを中心に、みんなで力を合わせて頑張っています。

指導にあたっているのは、東通小学校の西川真由（にしかわまゆ）先生と阿部絹枝（あべきぬえ）先生。スポーツ少年団に移行後も、自らの経験を伝えようとボランティアで熱心に教えています。

練習内容は、準備運動やボールを持たないウォームアップなどで体を温め、パス練習、ドリブルシュート練習、試合形式練習と続きます。

東通MBBCの代表責任者の東田（ひがしだ）亜里（あさと）さんは「バスケットボールが好きでクラブに入っているメンバーばかり。ボールに食いつき、どうやったら上手くなるか考えている姿勢が素晴らしいと思います。怪我や喧嘩もなく、楽しく仲良く頑張れるように見守っています」と話します。東田さんは代表責任者になるため、指導者と審判のライセンスを取得したそうです。

さらに東田さんは、「バスケットボールは、仲間を思いやる気持ちなど、生きていく上で大切なあらゆることがギュッと詰まったスポーツ。1人ではできないことも、助け合うことで達成できると思います。勝つことの喜びを味わい、さらにチーム力を上げていきたいです」と話していました。

ウォームアップで体を温める

シュート練習

試合形式の練習

凛々しいユニフォーム姿

村内各地区の皆さまから心温まる情報をお届けします。

地元の特派員レポート

写真は特派員が自ら撮影したものです。

自然豊かな岩屋

東通村岩屋在住 東通小学校(5年) 大槻(おおつき) 碧(あおい)さん(11歳)

私の住んでいる岩屋は、東通小学校から見て北東にあります。

岩屋は、目の前はつゆくさ色とるり色が混ざったきれいな海で、後ろはつるなどが生えた岸があり、とてもきれいです。

冬は風が強く、雪が積もりにくいけれど、海から潮が来たり、いわしのにおいや、いろいろなにおいがします。

岩屋は漁業が盛んで、ほとんどの人が漁業をして生活しています。夏にはイカ、冬はタコ、海藻などが多くとれます。

今年は、4年ぶりに秋祭りが開催され、船を土台に作り上げた山車を、踊ったりしながら引っぱりました。他に、岩屋の盆踊り「わや音頭」をみんなで踊ったり、地区の人でカラオケ大会やかき氷の早食いなどで盛り上がりました。

若い人やお年寄りの人が毎日楽しくすごせて、いいところが盛りだくさんで、私の大好きな自然豊かな岩屋を、いつか見に来てください。

つゆくさ色とるり色が混ざったきれいな海

船を土台に作り上げた山車

みんなで踊ったわや音頭

古野牛川敬神会の活動を通して

東通村古野牛川在住 藤田(ふじた) 碩基(ひろき)さん(33歳)

私は古野牛川敬神会に所属しています。現在は13名の会員がおり、地区の祭り等での祈祷や正月の門打ち、能舞の発表などの活動を行っています。一時、地区での能舞が途絶えましたが、平成13年(2001年)の集会施設「しおさいの館」建設を機に、むつ市海老川地区の能舞継承団体である「むつ蒲野沢会」の協力で権現舞が復活。さらにその後、鹿橋青年会から式舞(しきまい)(鳥舞(とりまい)、へんざい、おきな、さんば)と武士舞(ぶしまい)(信夫(しのぶ)、屋島(やしま))を習い、平成29年(2017年)には、60年ぶりに集落での能舞発表を復活させることができました。

「しおさいの館」に鎮座する熊野様

令和2年(2020年)からは、新型コロナウイルスの流行により活動に制限がありましたが、また能舞が途絶えることのないよう、感染対策をしたうえで集まり、練習や発表会を行いながら、鹿橋青年会の協力のもと、新たに「鈴木」を習い演目を増やすことで、士気を高めてきました。

発表会の様子

順調に活動を進める一方で、若い担い手への伝承活動が大きな課題となっています。地域に住む若者、特に子どもたちへの伝承を行いたいと考え、声掛けなどを行っていますが、活動への参加までたどり着きません。このままではまた「活動が途絶える日」も遠くないと考えています。どうしたら「やりたい」が生まれるのか、どうしたら「興味がある」を引き出せるのかを、会員や地域の人と話し合い、先代の方々が繋いできた「歴史」や「文化」を絶やさないような活動をしていきたいです。

古野牛川地区の一員、地域の担い手の1人として「想い」をもって活動していくことで、地域を活気づけられれば良いなと思っています。

発行

東北電力(株)東通原子力発電所広報課

〒039-4293 青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下34番4

TEL0175-46-2225・FAX0175-46-2227

しおさい、PSつうしんのバックナンバーはこちら

当発電所へのご意見・ご要望をお寄せください

誌名「しおさい」について

★東通村で絶えることなく聞こえる心地よい波の音(しおさい)のように、皆さまの心に末長く心地よく響き続ける広報誌でありたいという思いを込めています。

編集後記

しおさい第29号、いかがでしたでしょうか。

「クローズアップ こんにちは元気さん」で紹介した「東通そろたら音頭」、皆さまはもうご覧になりましたか?「もちつき踊」という伝統が、若い世代の解釈で形を変え、新たな伝統として次の世代に受け継がれていく様子からは、故郷への敬意や深い愛情が感じられますね。

実は「東通そろたら音頭」、振り付けだけでなく、作詞・作曲から歌まで、全てが実行委員による手作りだそうです!東通村の色彩豊かな四季の情景が登場する歌詞は必聴です!

今後も、東通村の皆さまに親しんでいただけるような誌面づくりに努めてまいりますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願いいたします。